

移動巡回型地域協議会(第7回地域協議会)及び地域振興懇談会  
次 第

日時：平成27年9月30日(水)午後6時30分

会場：柿崎地区公民館 川西分館

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 内 容

【地域協議会】

- (1) 会長あいさつ及び地域協議会の説明(地域協議会 資料1)
- (2) 協議事項
  - ・ 地域活動支援事業にかかる課題について(地域協議会 資料2)
  - ・ 地域活動フォーラム開催にかかる事例発表候補者の推薦について(地域協議会 資料3)
- (3) 会長報告
  - ・ 平成27年度委員視察研修について(地域協議会 資料4)
- (4) 部会報告
- (5) 市からの報告
  - ・ 諮問第78号に対する市からの回答について(地域協議会 資料5)
  - ・ 原子力防災訓練の実施について
  - ・ 施設使用料に係る新たな減免制度の実施時期の変更について
- (6) その他
- (7) 次回(第8回地域協議会)の開催日について

日時 平成27年10月 日 ( ) 午後 時 分から

会場 七ヶ地区コミュニティセンター (七ヶ地区)

【地域振興懇談会】

- (1) 市の取組みについて
  - ・ マイナンバー(社会保障・税番号)制度について
  - ・ 「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画(初版)」について
  - ・ 空き家の実態調査及び活用について
  - ・ 公共下水道について
- (2) 意見交換会
  - ・ 各地区の課題等についての意見交換及び要望等

- 4 閉 会

# 柿崎区地域協議会の活動について

## 1 地域協議会とは

### (1) 地域協議会の役割

柿崎区における地域の課題を議論し、意見を取りまとめて市長に伝えることが役割です。地域協議会は市長から諮問された(意見を求められた)案件を審議するだけではなく、区内の課題を自主的に審議し、意見を提出しています。

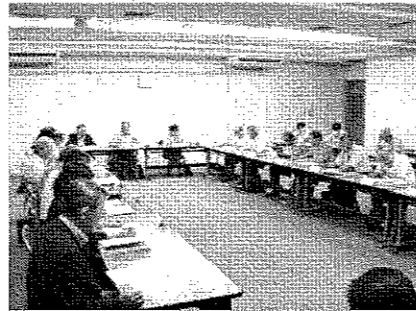
### (2) 地域協議会委員について

委員は、議員、公務員などを除き、柿崎区の中で暮らしている25歳以上の方であればどなたでも応募できます。柿崎区における委員の定数は18名です。応募者が定数よりも多かった場合は、住民の皆さんによる投票を行い、その結果を尊重し、委員を選任します。委員の任期は4年で、報酬は無報酬です。一方で、少なかった場合は、年齢や性別など委員の構成に考慮し、委員を選任することができます。

### (3) 地域協議会の活動

#### ア 会議の開催について

地域協議会は、おおむね毎月1回開催されています。通常の会議のほかにも、自主的な事前打ち合わせや勉強会などを行う場合もあります。地域協議会の開催予定は事前に公表しており、会議はどなたでも傍聴できます。



【会議等の開催回数(平成25年度～)】

	開催回数	傍聴者数	諮問数	答 申		自主的審議事項	
				答申数	附帯意見等の数	新たな自主審議数	意見書数
平成25年度	13	31	6	6	1	2	2
平成26年度	14	21	8	8	0	2	うち1件は継続審議中

#### イ 移動巡回型地域協議会と地域振興懇談会の開催について【新規】

地域の皆さんから柿崎区地域協議会の実際の活動内容をよく知っていただくため、今年度新たな取り組みとして、各地区(下黒川地区、正直地区、柿崎地区、川西地区、七ヶ地区、黒川・黒岩地区)の会場に向いて地域協議会を開催する「移動巡回型地域協議会」を開催することとしました。

また、総合事務所との同時開催である「地域振興懇談会」を実施し、地域の皆さんとの意見交換会を開催することで、地域課題の解決や地域の声に寄り添った取り組みを行うことを目指します。

## ウ 諮問について

諮問日	諮問	諮問事項	担当課等
H25. 7. 22	64号	柿崎総合運動公園人工芝グラウンドの管理運営方法の変更等について	体育課
H25. 10. 11	65号	上越市柿崎下牧多目的センターの廃止について	体育課
H25. 10. 28	66号	地域事業の見直し案について	柿崎区総合事務所
H25. 12. 19	67号	地域事業の見直し案について	柿崎区総合事務所
H26. 1. 30	68号	柿崎マリンホテルハマナスの利用料金上限額の変更等について	観光振興課
H26. 1. 30	69号	柿崎ハマナスふれあいセンターの利用料金上限額の変更について	観光振興課
H26. 7. 28	70号	上中山農産物等加工センターの廃止について	農業政策課
H27. 1. 09	71号	柿崎ハマナスふれあいセンターの廃止について	観光振興課
H27. 1. 13	72号	かきざき福祉センターの利用料金上限額の変更について	福祉課
H27. 1. 14	73号	上越市柿崎総合運動公園グラウンドの利用料金上限額の変更について	体育課
H27. 1. 14	74号	上越市柿崎総合運動公園野球場の利用料金上限額の変更について	体育課
H27. 1. 14	75号	上越市柿崎総合体育館の利用料金上限額の変更について	体育課
H27. 1. 14	76号	上越市柿崎第一庭球コートの使用料の変更について	体育課
H27. 2. 06	77号	かきざき福祉センターの管理運営方法の変更について	福祉課
H27. 7. 29	78号	新市建設計画の変更について	企画政策課

#### ■諮問第65号：上越市柿崎下牧多目的センターの廃止について

##### ■諮問内容

上越市柿崎下牧多目的センターは建設から45年以上経過し、老朽化が進んでいました。利用者も年間600人程度となっており、耐震基準を満たしていないことから、施設を平成25年度末で廃止する方針とし、当センターを廃止することにより及ぼされる影響等について意見を求められました。

##### ■諮問に対する地域協議会の答申

上越市柿崎下牧多目的センターの廃止については適当と認めました。しかし、本施設は、柿崎区の観光資源である米山の登山口に位置し、多くの登山者のベースキャンプ地となっていることから、廃止後については関係団体の意見を参考に、登山口にふさわしい施設を整備してもらうよう要望しました。

##### ■市の対応

地域協議会の要望を踏まえ、米山登山道(下牧口)休憩施設は平成27年に完成し、地元集落の皆さんからご意見をいただき、「下牧ベース9<sup>きゅうきゅうさん</sup>9<sup>さん</sup>3」という愛称がつけられました。下牧の登山口から標高993メートルの米山山頂を目指すベースキャンプという意味が込められています。登山者との交流の場、地域活性化の拠点として活用できるよう、地元集落の皆さんと話し合いを進めています。

## エ 自主的に審議する事項について

審議開始年度	審議事項	備考
平成25年度	上越市立公民館の運営及び配置に関する基本方針(案)の見直し並びに分館施設の管理方法について	意見書提出
	特別警報発令時における防災行政無線放送のチャイム音改善について	意見書提出
平成26年度	柿崎区の保育園のあり方について	継続審議(※)
	通学定期運賃の補助制度の創設について	審議終了

(※)12名の委員で構成する「柿崎区内の保育園のあり方検討委員会」を立ち上げ、継続して検討を行っています。

### 3 平成 27 年度地域活動支援事業の採択状況について

地域活動支援事業は、市民の皆さんが「身近な地域での課題の解決や活力の向上」のために行う事業に対して、必要な経費を補助するものです。平成 27 年度の柿崎区の配分額は 7,300 千円で、配分額に残額が生じたことから、追加募集、3 次募集を経て、全 11 件の事業を採択(合計補助金額: 7,299 千円)し、募集受付を終了しました。

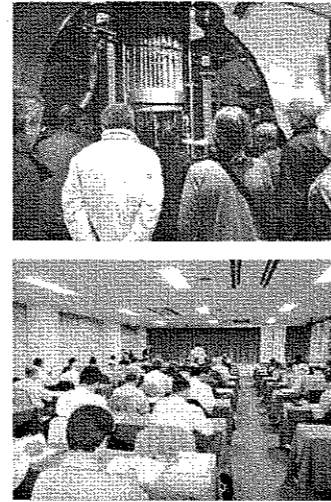
#### 【採択事業】

事業の名称	団体の名称	補助決定額 (単位:千円)	事業内容の概要
親子教養講座事業	上越市立柿崎中学校 PTA	540	東京フィルハーモニー管弦楽団の首席メンバーによる木管 5 重奏の演奏会を生徒と保護者、地域の方々を対象に行い、地域の交流や活性化を図る。
黒川・黒岩ふれあい事業	16 ピース	1,000	地域に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校のグラウンド整備、黒川・黒岩ふれあい祭り、そば打ちなどの、地域の方々に参加できるイベントを開催する。
かきざき湖八重桜広場(愛称)の八重桜の植樹及び八重桜広場看板設置事業	ガンバ米山	404	かきざき湖八重桜公園(愛称)に、地域住民と協力して八重桜を植樹し、柿崎の桜の名所とする。また、広場に看板を設置し、多くの人に知ってもらう。
<b>新規事業</b> 体験交流宿泊施設の整備	柿崎区中山間地域農業振興会	1,000	下牧集落開発センターを、移住希望者が気軽に訪れることができ、柿崎の暮らしを体験してもらえるような施設に整備する。
ドーム周辺花いっぱい事業	花うえの会	280	かきざきドーム周辺や柿崎地区公民館脇の花壇に花を植え、訪れる人たちの心のオアシスとなる施設にするとともに、ボランティアの育成を図る。
柿崎まちづくりカレンダー作製事業	柿崎まちづくり振興会	495	柿崎区内における各行事への参加意欲を高め、一体化した地域の醸成を図るため、行政や関係機関の主な行事、地区及び町内会の主な行事を記載したカレンダーを作製する。
<b>新規事業</b> 景家くん・花ちゃんマスコット人形作製事業	柿崎まちづくり振興会	840	柿崎区のご当地キャラクターである「景家くん」「花ちゃん」を身近なものにするため、マスコット(約 30 cm)を作製し、宿泊施設や飲食店、時代夏祭りや産業まつりなどのイベントに貸出し広く PR する。
柿崎タ日フェスティバル事業	柿崎タ日フェスティバル実行委員会	1,000	柿崎区の観光資源を生かし、住民に真夏の雪遊びと本格的なフラダンスを提供し楽しんでもらうことで、地域の活性化を図る。
かきざきデザイン・コンシェルジュ事業	柿崎わいわいしゃべろう会	750	柿崎の元気づくりと、安心安全な住まいにするための取組を通じた、コミュニティづくりと地域力アップを目的とし、「かきざき映画祭」と「東北視察研修」を実施する。
<b>新規事業</b> 2015 登山&海釣り体験 in 柿崎事業 ※追加募集	柿崎商工会女性部	240	人口減少に歯止めのかからない現状に少しでも役立つため、若者の出会いの機会として、「米山登山と海釣り体験」イベントを行う。広く柿崎を発信し、人、物、文化等の交流を行うことで、心が通う息の長い交流を目指す。
<b>新規事業</b> 米山登山道補修及び整備事業 ※3 次募集	柿崎山岳会	750	米山登山者が安全に楽しく登山ができるように、登山道の補修を行う。また、登山道の清掃や維持管理に必要な機具を購入し、草刈や倒木処理を行う。水野林道登山口近くにある、雨乞い祭場だったと云われのある「七塘の池」の標柱を設置する。

### オ 委員研修について

柿崎区地域協議会では、地域の課題を解決する上で、特に必要性が高いと考えられる案件について、視察研修を行っています。平成 26 年度は、東京電力柏崎刈羽原子力発電所と柏崎市中鯖石コミュニティセンターを視察しました。

また、頸北地区(柿崎区・大潟区・頸城区・吉川区)合同の委員研修会を開催し、共通のテーマによる研修(有識者による講義など)を行うとともに、日ごろの活動状況について情報交換を行っています。



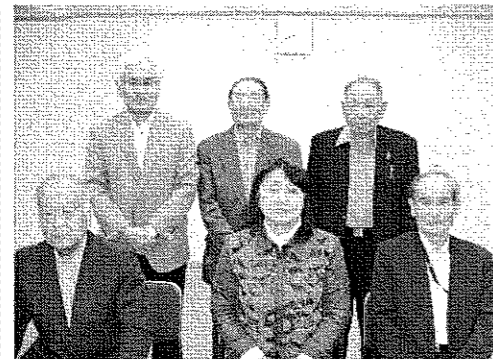
### 2 部会の設置について

柿崎区地域協議会では、地域活性化活動を積極的に行い、全体での協議・審議を効果的・効率的に進めるため、平成 26 年度から部会を設置しました。

部会は地域協議会長、副会長を除く委員で構成され、各部会に委員 5 名が所属し、正副会長は各部会に自由に出席できるものとなっています。

部会で調査・検討した内容は地域協議会に随時報告され、その内容を審議し、取り扱いを決定するものとしています。

前列右から  
小関茂夫、小出優子(部会長)、  
佐藤 健(地域協議会長)  
後列右から  
曾田良治、長井泰雄、小池猛紀



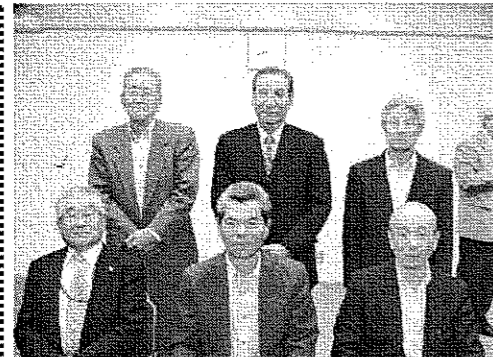
#### 総務・地域振興部会

- ・地域協議会組織運営及び企画等に関すること
- ・地域コミュニティ及び地域振興に関すること
- ・まちづくりに関すること

#### 【平成 26 年度の活動(主な協議事項等)】

- ・地域活動支援事業における採択方針等の検討について

前列右から  
白井一夫、金子正一(部会長)、  
宮澤安雄(地域協議会副会長)  
後列右から  
吉村 登、渡邊征雄、白井秀雄



#### 産業振興部会

- ・農業振興及び漁港に関すること
- ・商工業の発展及び観光振興に関すること
- ・道路、公共下水道及び除雪に関すること

#### 【平成 26 年度の活動(主な協議事項等)】

- ・柿崎区地域協議会と農・工・商業者との意見交換会の実施

前列右から  
薄波清美、長井洋一(部会長)、  
神岡八江子(地域協議会副会長)  
後列右から  
木下高重、小山貞榮、小松美明



#### 教育・福祉部会

- ・環境保全や環境美化に関すること
- ・高齢者福祉及び児童福祉に関すること
- ・保育及び子育てに関すること

#### 【平成 26 年度の活動(主な協議事項等)】

- ・かきざきスポーツクラブとの意見交換会の実施
- ・柿崎区の健康づくり活動について
- ・柿崎区内の保育園の現状と将来について

## 地域活動支援事業に係る地域協議会からの意見・課題

地域自治区名:( 柿崎 )区

No.	意見・課題の内容	改善策(検討した場合のみ)
1	地域活動支援事業が広く市民に知られていない。活用方法を知らない団体が多いのではないか。提案団体が固定化されてきており、若者・女性が少なく、偏りがある。新規の提案団体を増やす取組みが必要である。	
2		
3		
4		
5		

## H27 地域活動フォーラム事例発表推薦書

柿崎 区

事業の名称	黒川・黒岩ふれあい事業
採択年度	平成 24、25、26、27 年度
事業による地域への効果	<p>○黒川小学校の閉校により地域の過疎化が懸念される中、地域の振興、活性化を目的に、黒川・黒岩地区の全 16 町内会をベースに地元団体「16 ピース」を結成した。「16 ピース」を中心としたイベント等の計画や開催により、若い人たちが定着できるような地域活性化のきっかけを作り出している。</p> <p>○黒川・黒岩ふれあいまつりでは、地域に交流と強い絆が生まれ、地域の一体感を醸成する場となっている。開催時期をお盆にすることにより、里帰り客も多く参加し、祭りの中で同窓会を開催する世代が出てきているなど、地域に浸透してきた。</p> <p>○今年度の黒川・黒岩ふれあいまつりの参加者は同地区人口のおよそ 7 割にあたる、約 800 人となるなど、地域に大きな賑わいを創出している。</p>
推薦理由	<p>○本事業は、「黒川・黒岩ふれあいまつり」を始め、「米山古道散策と遺跡めぐり」、「コスモスロード及び旧黒川小学校グラウンド整備」、「そば打ち」で構成されており、特に「米山古道散策」や「そば打ち」は地域資源を有効に活用し、伝統の継続、文化、歴史に触れながら、世代を超えて地域について語り合うことができる事業となっている。</p> <p>○今年で 4 回目となる黒川・黒岩ふれあいまつりは、毎年イベントの中に新たな発想や手法を取り入れている一方で、「十三夜の踊り」や「樽太鼓の演奏」など、黒川・黒岩地区の伝統を大切にしたいという思いが込められたものとなっている。</p> <p>○団体の頑張りや努力が感じられる地域を挙げての活動であり、人や地域の温かなつながりを大切にしたい非常に良い事業であるため、他地域においても参考としてもらいたい。</p>

## 平成 27 年度 柿崎区地域協議会視察研修について(案)

■ 日時：平成 27 年 10 月 28 日(水) 10 時 15 分～17 時 00 分

■ 行程表

( 集 合 ) 10 時 15 分 柿崎区総合事務所

( 出 発 ) 10 時 30 分 柿崎区総合事務所



( 昼 食 ) 12 時 00 分～12 時 40 分 ・やまこし復興交流館「おらたる」にて昼食  
(山古志弁当)

( 見 学 ) 12 時 50 分～13 時 30 分 ・施設見学  
(地形模型シアター・仮設集会所再現等)

(被災地等見学) 13 時 30 分～15 時 30 分 ・ガイドによる被災地等の見学  
(マイクロバス内)



( 到 着 ) 17 時 00 分 柿崎区総合事務所



■ 第 8 回地域協議会(七ヶ地区コミュニティセンター)

(開始) 18 時 30 分～



上 企 第 33633 号

平成 27 年 9 月 24 日

柿崎区地域協議会

会 長 佐藤 健 様

上越市長 村 山 秀 幸

(企画政策部企画政策課)



新市建設計画の変更について (通知)

平成 27 年 7 月 29 日付けで答申のあった諮問第 78 号:新市建設計画の変更について、  
下記のとおりとしますのでお知らせします。

記

このことについて、全 28 区の地域協議会に諮問した結果、全て「適当」との答申を  
いただいたため、諮問のとおり計画を変更する手続きを進めることとします。

なお、今後は、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、平成 27 年上越市議  
会 12 月定例会に議案を提出します。